

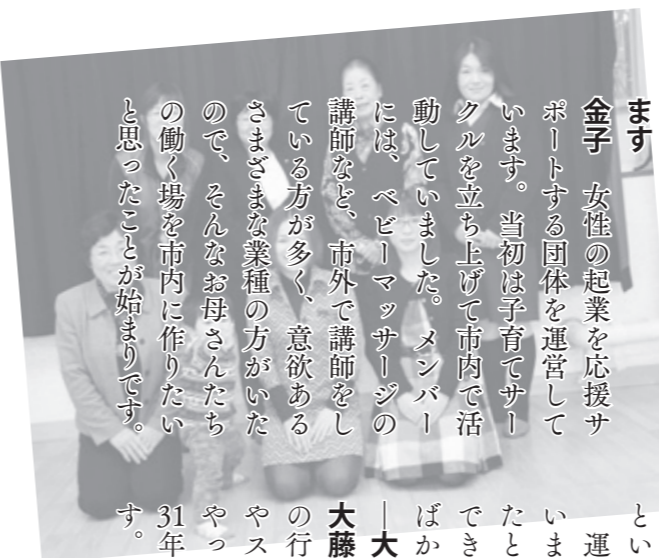
3 未来に向けて 動き始めた女性たち

市内には、さまざまな分野で活躍する女性たちがいます。今回、地域や職場で自分たちが主体となって取り組んでいること、今後の希望について、交流会も兼ねて聞いてみました。新たなつながりも生まれそうです！

自己紹介と意見交換

まずは金子さんお願いします

金子 女性の起業を応援サポートする団体を運営しています。当初は子育てサークルを立ち上げて市内で活動していました。メンバーには、ベビーマッサージの講師など、市外で講師をしている方が多く、意欲あるさまざまな業種の方がいたので、そんなお母さんたちの働く場を市内に作りたいと思ったことが始まりです。



ながら柔軟に働きたい、だったら自分たちの特技を生かして、独立起業しようという方が多いです。運営はまだ軌道に乗っていませんが、10年、20年経ったときに、本当にサポートできるように活動を始めたばかりです。

大藤さんお願いします

大藤 日光吹奏楽団で地域の行事に出演する際の窓口やステージマネージャーをやっています。今年で結成31年目、在籍24年になります。団員の中には結婚や子



お母さんの起業をサポート
金子由佳さん

行政のワークショップなどの依頼に講師を派遣しています。日光市は本当に子育て支援が充実して助かっています。だからこそ子育てしながら



自治会運営に工夫を凝らす
平間サチ子さん

目になります。市町村合併後、初めての女性自治会長です。

工夫していることは

市の無利子貸し付け制度を活用して、平成25年に自治公民館を作りました。300万円を8年で返済するもので、自治会の皆さんの負担はなしに、返済する方法を考えています。清掃活動で回収した古紙やアルミ缶の売り上げや、別荘地の土地の除草管理を請け負う仕組みを作って、それらの収入を返済に充てています。

松尾 良いアイデアですね

平間 女性だからこそ、細かいことができるのかも。代々の自治会長から引き継いだことも生かして、交流を大事に。主人の理解と協力も大きいです。

育てのために活動をやめる方もいますが、それは絶対にもったいないことだと思います。続けてきました。

一同 お

大藤 平成26年の結成30周年の際には、日光地域の小学校のプラスバンド部の子どもたちを招いて大演奏会を行いました。部員数が少ない学校もあるため、合同で演奏することで、大人数でのステージを経験してもらうことができたと思います。現在も一部の学校と交流させてもらっています。

金子 練習は土日ですか？

大藤 土曜日の夜です。演奏会前は平日夜の練習もあります。ご飯の準備をして、子どものお風呂など、主人や母に頼んでから出かけます。



地域に愛される楽団を目指して
大藤美由紀さん

谷野 お願いすることは必

谷野 それが一番！

平間 家事はしなないと、理解はしてくれませんが(笑)

谷野さんお願いします

谷野 市内の直売所に加工品を作って出荷しています。手作りみそや惣菜、漬物、弁当など。私の家は農村女性企業第一号で、家族の協力の意識は高いです。特に直売所は消費者と触れ合える場なので、そこでの交流も大事にしています。公民館で手作りみそ教室をやったり、郷土食のものつかけの継承も。

平間 名物！

谷野 そう！ 栃木の伝統食です。また、農業委員としても食育に関する取り組みを今後していきたいです。消費者との信頼関係を結んで地域の農業のために役立っていききたい。農政は改革時期



食で地域おこしを図る
谷野三枝さん

要ですよね。

大藤 その他に、独身時代に日光東照宮に勤めていた経験を生かし、資格はありませんが、ボランティアとして二社一寺を手話で案内することもあります。特に、専門的な言葉や古い言葉は分かりづらいので、分かりやすい言葉に変えて案内をしています。

松尾 すばらしいですね

大藤 観光に来た方々に日光のすばらしさを知ってもらおうお手伝いができたらと思っています。

沼尾さんお願いします

沼尾 日光青年会議所で直前理事長をしています。まちなかニコニコ文化祭などのまちづくり事業や青少年の育成、研修などを行う団体です。また、鬼怒川温泉でタクシー会社を経営しています。女性の視点で積極的に発言したり、子育てタクシーを導入したりしています。

金子 そういうサービスは

沼尾 市内ではめずらしいですね。市外からの転入者が多い観光地なので、他の会



高齢化社会に向けてつながりを
松尾由記さん

で、私たち女性の役割も重要になってきていると感じています。

松尾さんお願いします

松尾 NPO法人毎日クリスマスでケアマネージャー、また介護サービス事業者連絡協議会の会長をさせていただいています。小百、轟、第3小学校の学童保育、福祉の移送サービス、ホームヘルプ、国際交流などを行っています。今日は皆さんとお話しをしていて、介護の分野で生かしていけそうなのつながりを感じています。市が計画している地域包括ケアシステム(30分で行き会えるまちづくり)という考えがあり、自治会など、あちこちでサポートする人を見つけて、子どもや高齢者、障がい者が安心して暮

社の方々も巻き込んで女性のニーズに対応していきたいです。

平間 先日、男女共同参画セミナーで高齢化について課題を出し合うワークショップをしました。高齢者は買い物や通院に困るなどの問題を抱えているので、料金が安く手軽に利用できる車が欲しいという意見が出ました。

沼尾 行政だけでは難しいところもあると思うので、連携して検討することが必要でしょうか。

松尾 今後の課題ですね

豊後 建設会社で20年、育児休業や育児短時間勤務を取りながら仕事を続けてきました。子育てが落ち着いてきたので、現場パトロー



まちづくりは女性を成長させる！
沼尾綾乃さん

らせるまちづくりをしていくというものです。市内には、介護に携わる事業所や団体が150以上ありますが、地域の皆さんの意識や協力が一番大切。このつながりを生かしていきたい。これからの日光市をしょって立つ皆さんだと思いました。

一同 重いですよ(笑)

松尾 まずは身近なところから、自分に何ができるのか主体的に考える、一人一人の意識が大切だと思うんです。

また、毎年市内で活動する団体が集まって、活動紹介や交流をするボランティアフェスタというイベントがあります。9月3日(土)開催予定なので、このメンバーで出演しましょう！

話は尽きませんが、新たなつながりが見えてきたところで終わりたいと思います。皆さんの取り組みを紹介することで、特に女性の皆さんが将来の日光市のためにできることを考える、そんなきっかけになればいいと思います。ありがとうございました。